

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	7
事業名	施設整備費（中学校費）	
会計	款	項
一般	10	3
目	1	
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-2	教育環境の整備
主要施策	②学校教育施設・設備の整備・充実	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員第一中学校・東員第二中学校	目的 (対象がどのような状態になっているか)	中学校施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な学校づくりを推進します。
事業内容	校舎の施設整備を行います。 (設計監理、増築改築、大規模改修工事)			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			18,392		19,696		68,285	
財源内訳	直接事業費 A		16,808		18,112		66,041	
	うち一般財源		13,918		18,112		66,041	
人件費(千円) B			1,584		1,584		2,244	
内訳	一般職員(人・千円)		0.24	1584	0.24	1584	0.34	2244
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	効率的で効果的な改修計画の策定が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	東員第二中学校老朽化診断調査や東員第一中学校外壁等改修工事を実施しました。	④今後の改善計画	個別施設計画を策定する。